



Level 4-5

2019年度
第2回



検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

検定上の注意

1. 検定時間は60分です。
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒に回収します。

受検番号

氏名

《問題Ⅰ》 次の問いに答えなさい。

第一問

に入る言葉を、後の【言葉】ア～オの中から選んで慣用句を完成させなさい。また、それぞれの意味を【意味】カ～コの中から選んで答えなさい。

(1)

を外す

(2)

の功名こうみやう

(3)

をなげる

【言葉】

ア さじ イ 羽目 ウ つえ エ けが オ ねじ

【意味】

- カ 当初は失敗に思われたことが、いい結果をもたらすこと。
- キ 物事がすでに進行してしまい、後もどりができないこと。
- ク 調子にのって節度を失うこと。
- ケ 何かをできる見こみがなくなり、あきらめること。
- コ 失敗しないように前もって準備じゅんびしておくこと。

第二問

次の言葉の意味にあたる二字熟語じゆくごを、後の漢字を使って作りなさい。

(1)

芸術作品げいじゆひんなどが持っている上品さ。

(2)

苦勞くろうが無駄むだになること。

(3) よく話してわからせること。

調 降 生 徒 説 無 格 労 消 益 得

第三問 () の中の正しい漢字を答えなさい。

(1) 博物館にきれいな(鉱物・好物)がならんでいた。

(2) 映画のストーリーを(校正・構成)する方法を学ぶ。

(3) 弟たちの間に入ってけんかを(静止・制止)した。

(4) 王は国の(再考・再興)をはかった。

第四問 次の文の()に入る最も適切な熟語を()の中から選び、カタカナを漢字に直しなさい。

(1) 毎日そうじをして部屋を()に保つ。()
セイサン セイケツ セイシヨ

(2) その話は()で、科学的な証明はされていない。()
メイシン メイロ コンメイ

(3) 彼女はこのドラマで()を務める。()
シユツエン ジツエン シユエン

第五問

次の語句をならべかえて、例にならって一文を作りなさい。また、——線部のカタカナは、漢字に直しなさい。ただし、には主語、には述語、——の後は助詞が入ります。解答ら
んには例のように記入すること。

【例】 通っている の は に ダイガク 姉 わたし 。

わたし — の — は 大学 — に 通っている 。

↓
 (解答らん)
わたしの姉は大学に通っている。

(1) ゆったり 田舎 いなか 生活 シツソな で 送る を 。

— — — — — 。

(2) ごくごく 兄 を タンサン は ジュース の 飲んだ 。

— — — — — — 。

《問題Ⅱ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次のア～カの中から、主語がふくまれていないものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 来週、台風が日本を通り過ぎるらしい。
- イ 美術の授業で、鏡に映った自分の顔を描いた。
- ウ 土砂崩れで道路が通行止めになった。
- エ 庭のリンゴの木に大きな実がなった。
- オ 兄のボールペンを借りてメモをとった。
- カ 山の頂上の大木が雷に打たれた。

第二問 例のように、問題文を図に当てはめたとき、

(3)

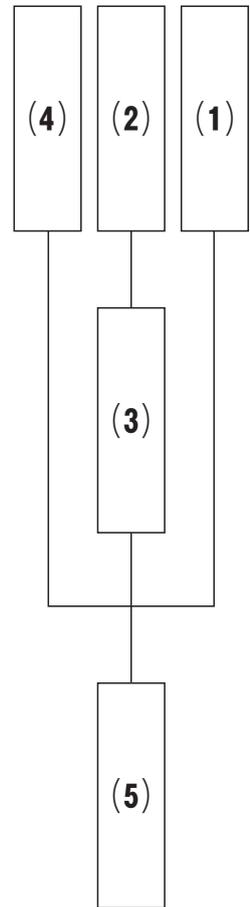
に当てはまる言葉をア～オの中から選び、

記号で答えなさい。

【例】 ぼくの 母は 音楽が 好きだ。



【問題】 ア クリスマスに イ コートを ウ 着て エ 街へ オ 出た。



第三問 次の文章の (1) (2) に当てはまる接続語を、後のア～オの中から選び、記号で答えな

さい。

不思議なことに「井戸の水は、夏には冷たくなり、冬には温かくなる」と昔から言われている。(1) 実際のところ、井戸の水は冷たくも温かくもなっていない。地下深くにある井戸水は、外の気温の影響をほとんど受けないので、十四度から十六度くらいの温度に保たれている。冬、気温が五度るときに十五度の水をさわると温かく感じるし、真夏、気温が三十度るときに十五度の水にさわると冷たく感じる。(2)、変化しているのは井戸水の温度ではなく、気温と人の感覚なのだ。

ア しかし イ また ウ なぜなら エ つまり オ そして

《問題Ⅲ》 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いまからおよそ百五十年前のことです。英国南部のバスという市で、ある夜盛大な晩餐会が開かれました。

集まったものは、政治家、実業家、医師、軍人など数十人、いわゆるその市およびその付近で、名をあげている人ばかりでありました。当時まだ電燈は発明されておりませんでしたが、いく本かの美しい装飾をほどこした銀色の燭台が、テーブルの上に立て並べられ、皎々たる光のもとにも静粛に、食事がすまされました。

食後人々はテーブルをかこんだまま、紅茶をすすりながら、いろいろの話にふけりました。と、いつの間にか、すみの方で議論めいた口調で話すものがありましたので、一同は、言いあわせたように、口をつぐんで、その議論に耳を傾けました。

「(1)」とひとりの紳士がいました。

「(2)」やっぱり炎を少しはなれたところの方がかえって熱いですよ」と、他の紳士が反対しました。

紳士たちは、燭台に波うって燃えているろうそくの炎をながめながら、その炎の内部が熱いか、あるいは炎をはなれた少し上のところが熱いかを論じているのであります。

人々は、興に乗じて口々に賛否両説を吐きました。炎の中が熱いというもの、炎の少し上のところが熱いというもの、いずれもほとんど同数の賛成者を得て、なかなか解決が付きません。それぞれいろいろの理屈を考えだして自を主張しましたが、だれも、いずれが正しいか、審判をあたえるものはありませんでした。

先刻から、賛否いずれともいわなかった、年のころ二十五、六歳の小柄な紳士は、そのとき突然立ちあがって、

「(3)」と叫びました。

人々は、ぱったり議論をやめて、一斉にその紳士を見つめました。すると、かれは、だまって、前にある一本の燭台をひきよせ、右手の指を、いきなり、ろうそくの炎の中につきさしました。

一秒、二秒。紳士はおもむろに指を引きました。

② 一同はあつけにとられて、ふしぎな芸に見いました。

紳士はそれから、ふたたびその指を、炎の少し上に近づけましたが、近づけるやいなや、

「熱ッ」

と、小声でいって手を引きました。

「みなさん」と、青年紳士は、にっこりわらいました。「(4)」

こういって、やおら席につくと、われるような拍手が起こって、人々は口々に、その紳士の機知を賞讃しました。

そのあくる日のことです。

バスの市から少しへだたったパークレーという町に住んでいるこの青年紳士のところへ、ひとりの中年の紳士がたずねてきました。

この青年紳士は、客を見て、

「おや、昨夜はいろいろ失礼いたしました。(5)」とたずねました。

この青年紳士は医師だったからです。

小酒井不木 『ジエンナー伝』

(一部表記を改めた)

第一問 (1) ～ (5) に入る文を、次のア～オの中から選んで、記号で答えなさい。

ア そうじゃありませんよ。

イ どこか、お悪いのですか。

ウ これで、どちらが熱いかおわかりになりましたでしょう。

エ みなさん。

オ 無論、私は炎の中の方が熱いと思います。

第二問 — 線部①「賛否両説」とありますが、紳士たちはどのような議論をしていましたか。「～という

議論」という言葉につながるように、三十文字以内(句読点をふくむ)で答えなさい。

第三問 — 線部②「一同はあつけにとられて、ふしぎな芸に見いりました」とありますが、紳士一同があ

つけにとられたのはなぜですか。二十五文字以内(句読点をふくむ)で答えなさい。

第四問 次のア～オについて、本文の内容に合うものには○、合わないものには×を書きなさい。

ア 英国の外から来た紳士たちが、バスでの晩餐会に参加した。

イ 晩餐会に参加していた紳士たちは、食事中に議論をはじめた。

ウ 小柄な紳士は炎の中に指をつっこんだ後、一秒もたたずに指をひっこめた。

エ 晩餐会の翌日、青年医師は中年の紳士と再会した。

オ 炎は内部より、少し上にはなれたところのほうが熱かった。

《問題Ⅳ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の文章の要点をまとめると、(1) (2) (3) にはどんな言葉が入るか、文中から抜き出

しなさい。

ヤギに紙を差し出すと、食べてしまうことがあります。他の草食動物はたいてい、紙を食べることはありません。どうしてヤギは紙を食べてしまうのでしょうか。

ヤギはふだん木の葉を食べています。木の葉は、中にせんいといわれる糸のような筋があるせいで消化しづらく、草食動物でも食べるのが難しいものなのです。しかし、ヤギは胃の中の微生物の力で、このせんいを溶かすことができます。紙はせんいをかためたもので、生き物がこれを食べ物とみなすことはそうありません。しかし、ヤギにとって、せんいは消化して栄養にできるものなので、ヤギは紙を食べるのようになってしまふのです。

【要点】 (1) (2) (3) が紙を食べてしまふのは、紙の (1) (2) (3) を (1) (2) (3) ことができるからだ。

第二問 次の文を正しい文にするためには、どの言葉をけずるのがよいか、その言葉を抜き出しなさい。

うさぎが 月に 昔の 住むという 言い伝えが ある。

第三問 次の言葉をならべかえて一文を作りなさい。ただし、一つだけ使わない言葉があります。

夏休みが 行きたい 終わる 北海道へ 海が 前に 旅行に 。

第四問 次の二つの文を組み合わせて一文にしなさい。

- ① 学校の図書室に植物図かんを返しに行く。
- ② 植物図かんはぶあつくて重い。

第五問 A・B・Cの三つの文を順番を変えずに、一文にしなさい。

- A 時計が夜の七時を知らせた。
- B しかし、七時からのテレビ番組が始まっていなかった。
- C だから、時計が少し進んでいたことに気づいた。

《問題V》 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

かずま…昨日きのうのニュースで聞いた話なんだけどさ。深夜にコンビニを開けるために、お店の人たちがとても苦勞くろうしてるらしいんだ。コンビニはいつも人手不足ぶそくで、同じ人が昼も夜も働はたらきどおしなこと多い。中には働きすぎて体調を崩くずしてしまいう人もいる。モノを売ることよりも人の命を守るこの方が大事だよ。

みなこ…でも、コンビニが人の命を守ることがあるのよね。コンビニって、困こまった人の避難場所になることがよくあるから。不審者ふしんしゃに声をかけられた女性がコンビニに逃にげこむことが、毎年何千件けんもあるらしいの。家に帰れなくなったお年寄りとしよが保護ほごされることも多いらしいし。暗い夜道を歩いていき、コンビニの明かりを見ると少しほっとするもの。

まさと…夜中に店を開けているのは、いいことじゃないよ。真夜中、近所のコンビニに人や車が集まってくるんだけど、話し声やエンジン音がすごくうるさいんだ。夜中でもやたらとまぶしいのも、近くに住む身としてはいやなんだよね。

さや…でも、近くにあることで助けられることもあるよね。以前台風のせいで夜中に電車が止まって、家に帰れなくなったことがあったんだ。そのときは、コンビニでトイレや水道を貸かしてもらってなんとか朝まで過すごせたの。それに、大きな地震じしんが起きたとき、コンビニがおにぎりを配る拠点きょてんになっているのを見たことがあるよ。災害さいがいが起きたとき、コンビニに人がいないと困こまってしまうわ。

第一問 「コンビニは深夜に営業するべきではない」とする理由を、会話文の内容をもとに二つ答えなさい。

ただし、それぞれ三十五字以内（句読点をふくむ）で説明すること。

第二問 「コンビニは深夜でも営業するべきである」とする理由を、会話文の内容をもとに二つ答えなさい。

ただし、それぞれ三十五字以内（句読点をふくむ）で説明すること。

